

Welcome

13th アストロプラザ in さが



13th ASTRO-PLAZA in SAGA
1991-11-23-24

1991年11月23日・24日

佐賀県立北山少年自然の家

主催：佐賀天文協会

共催：山陰、岡山、広島、山口、四国、福岡、大分、各天文協会

協力：有田天文同好会スターダスト、長崎県天文協会

後援：富士町、県立北山少年自然の家

受付をすまされたら、早めに食堂にて夕食を済ませて下さい。
献立： ちらし寿司、おすまし、ほか、

- 佐賀天文協会：

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------------|
| オリジナル | T-シャツ | サイズM, L | ¥ 2, 0 0 0. |
| | | L L | ¥ 2, 2 0 0. |
| オリジナル | テレホンカード | | ¥ 8 0 0. |
| オリジナル | ステッカー | | ¥ 2 0 0. |

- 天文グッズ（星座早見盤付き12星座ペンダント、ポスター他）
天文関係書籍（村山定男氏著書たぶんサイン入り）

- (販売品の詳細は、係員までお尋ね下さい。一覧表を用意しております。)

- 手作りクッキー ￥
スペースランナー ￥

(株)アトム、協栄産業福岡店、テレスコープベガ、矢野メガネ店、アストロハウスとみた、： 各店販売、委託販売

- 飲 物：ビール、佐賀の地酒、各地の地酒、ウーロン茶、ジュース等

一応、24:00 でお開きにいたしますが、後は自由です。

- 7:00より8:00までですがなるべく早く済ませて下さい。

- ・ 記念撮影： 村山先生のスケジュールの都合で8：00より記念写真を撮影いたします。希望の方は受付で封筒に自分の住所、氏名を記入の上写真代¥300を添えて申し込み下さい。

- ・ 同好会紹介：おもに各天文のサークル単位で自己紹介をお願いします。

- ・ アstroクイズ : 星に関する問題を答えて頂く第1部と、抽選会の第2部とがあります。どちらも、豪華商品多数あり。

- ・オークション : 各天文ショップ、団体、個人提出の新品、中古品、棚卸し品、等を対象に行います。
不要品交換会 : さて、どんな掘り出し物がでてくるか 乞うご期待

富士町、南川副漁業協同組合（日本一美味しい有明海の一番海苔）、古川薬局（使い捨てカイロ）、ヒートアイランド（トレーナー）、園田商事（食料品その他）、デザインスタジオJack in the Box（東京、シンボルマークデザイン）、深川製磁（陶器多数）、飯盛教材（辞書）、まるそう（昆布）

アトム（東京）、テレスコープベガ（神戸）、協栄産業（福岡店）、ヤノメガネ天文ショップ（大分）、古賀眼鏡店、
 瀬上時計店（牛津）、天文ハウスとみた（長崎）、やなぎカラー、タマヤカメラ、

旭光学工業、カートン光学、カール・ツァイス、ケンコー、高橋製作所、ニコン、(資)日新商会、ビクセン、フジノン [富士写真光学]、ミカゲ光器研究所、ミノルタカメラ メ-カ-はアイウエオ順

— 村山定男 氏 略歴 —

- 1925年(大正15年) 東京都文京区本郷に生まれる。
武蔵高校に入学。小尾信弥氏と同窓。
東京大学理学部化学科に入学。
1946年(昭和21年) 東京大学在学中に国立科学博物館に非常勤職員として勤務。
1948年(昭和23年) 大学卒業と同時に国立科学博物館に正職員として勤務
1989年(平成元年) 国立科学博物館理工学部長を定年退官。

現在、国立科学博物館名誉会員

五島プラネタリウム(東京・渋谷)館長

元「星の手帖」特別編集委員

等のかたわら、天文普及の講師や各地天文施設のアドバイザーとして活躍中

【プロフィール】

国立科学博物館在職中は、主に天文関係の観測や研究に専念され、特に惑星や隕石に関しては造詣が深く、レンズや反射鏡研磨に付いても玄人はだしです。

また、アマチュア天文家には深い理解を示され、国立科学博物館において一般天文ファンの為に無料の「天文普及会」や博物館の望遠鏡を使っの「天体観望会」等を主催され天文知識の普及にご尽力されております。

村山先生を氏と仰ぐアマチュア天文家は日本中に数多く、藤井旭氏等は特に有名です。

一方、アポロ11号の月面着陸やマリナー号の火星探査など天文に関する出来事の度にNHKの解説者として出演され、一般の人にも解りやすい解説で定評があります。ハレー彗星が回帰したときには「日本ハレー協会」を創設されました。

日本の天文学会に多大な貢献をされており、その功績により最近発見された小惑星には「ムラヤマ」と命名されております。また、フランス天文学賞「アンディ・ヘイ賞」を受賞されました。

- | | | |
|--------|------------------------|---------|
| 【主な著書】 | 「彗星と隕石」(別冊サイエンス) | 日本経済新聞社 |
| | 「星座への招待」藤井旭氏と共著 | 河出書房 |
| | 「天文学への招待」 | 河出書房 |
| | 「双眼鏡で星空ウォッチング」白尾元理氏と共著 | 丸 善 |
| | 「天文おりおりの記」 | 星の手帖 |
| | 「隕石の旅」(星の手帖に連載中) | 星の手帖 |

— 松本直弥 氏 略歴 —

- 1952年(昭和27年) 長崎市に生まれる。
1971年(昭和48年) 長崎県立長崎南高等学校卒
1975年(昭和50年) 鹿児島大学理学部地学科卒

現在、長崎県天文協会副会長

地質調査会社勤務のかたわら、天文普及の為佐世保児童科学館天文教室講師、などで活躍中

【プロフィール】

長崎南高時代のクラブ(地学部)入部が天文にのめり込むきっかけとなる、天文部の合宿(大分県・久重)でみたすばらしい星空、1970年のベネット彗星接近でお星様のとりこになったとの事、また自分の撮影した写真が印刷物になる味を覚えたのも地元紙に掲載されたこのベネット彗星の写真で、氏にとっては天文地獄にはまり込む大きな原因となった様です。

大学も地学科を選考、就職も地質調査会社と地学とは切り放されない人生を歩まれています。

アマチュア天文家としての活躍はめざましく、天体写真、特に惑星の拡大撮影の分野では、独自のコンポジット撮影法にて完成度の高い作品を常に残されております。

天文雑誌への初当選は1982年TG誌3月号オリオン座中央部200mm望遠によるモノクロで、1983年より86年までの4年間で天文各誌に141点の入選、多い時には一月に6点入選というような快挙(一説には暴挙との声もある)もなされております。以上のように天文雑誌のフォトコンテスト入選の常連で、1984年サンシャインプラネタリウム主催のフォトコンでは、「木星の自転」で総合特選を受賞、S誌フォトコンでは早々と20点卒業(91/5)4番目となり撮影、後処理を含めさらに高度な技術を研究中です。

使用機材は、自宅屋上に3.5Mドーム、M社製44cm反赤で惑星の拡大撮影を主に広い分野で活躍中です。

家庭では、愛妻、良子さんとの間に2男2女それぞれに、明星(あかり)暁星(さとし)、皆輝(みなき)、七星(ななせ)と星に関する名前をつけられており、ほんとにドブプリと星の世界という感じです。

他の趣味は、音楽鑑賞、旅行、音楽はモーツァルト大好き人間で、LPだけでも400枚所有、と天文以外にも氏らしい趣味をお持ちです。

大会スケジュール

11月23日(土)

- 17:00 受付開始
各自食堂にて夕食、展示作品、アストロバザー等のひやかし
- 19:00 第13回アストロプラザ佐賀大会 開会
岩井富士町町長挨拶
内川佐賀天文協会会長挨拶
- 19:30 講演会 第1部 松本 直弥 氏
(長崎県天文協会副会長、佐世保天文同好会会長)
- 20:30 休憩
- 20:45 講演会 第2部 村山 定男 氏
(国立科学博物館名誉会員)
- 22:15 お月見会(おでんパーティー、参加費用¥500、おでんその他、飲み放題、
食べ放題)
- 24:00 就寝

11月24日(日)

- 07:00 起床・朝食
- 08:00 記念撮影
- 08:15 同好会紹介、自己紹介
- 09:15 豪華商品が当たる、アストロクイズ
- 10:45 オークション、不要品交換会、表彰式
- 12:00 プラザ旗引き継ぎ、閉会・解散